

熊本市の HP における外国語情報掲載に関する提案

熊本市のホームページにおいて、外国語情報を掲載なさる際、同じ内容の日本語へのリンクも掲載なさることを提案いたします。この提案の詳細について以下にご説明いたします。

記

1. 現状

a. 自動翻訳

熊本市の HP の情報量が多く、人間の手ではその一部しか翻訳できません。そこで、自動翻訳を通して、すでに翻訳されていない日本語の情報も閲覧できるようになっていることは大変良いと思いますが、自動翻訳の元の日本語へのリンクがありません。

b. pdf 形式の外国語情報

今年の 5 月 30 日に英語、中国語、韓国語の「ごみ分別ガイド」が掲載されました。大きな前進だと思いますが、残念ながら同じ内容の日本語版が同時に掲載されませんでした。もちろん、日本人のための詳しいガイドは別にありますが、掲載されている場所も違いますし、文の構成も異なります。

2. 外国語と合わせて日本語情報を提供するメリット

a. 情報の意味を確認しやすい

自動翻訳のページの上の方に「自動翻訳なので、不正確な翻訳もあるかもしれない」との趣旨の注意書きがあります。

This page is translated using machine translation. Please note that the content may not be 100% accurate.



キーワード検索

しかし、元の日本語へのリンクがないので、意味を確認することができません。日本語が全く理解できない外国人であっても、日本語へのリンクがあれば、日本人に問い合わせることができますが、リンクがなければ尋ねられた日本人が答えに窮する場合があります。

外国語に精通している方が作った翻訳は自動翻訳よりずっと良いのですが、それでも伝わらない場合があります。例えば、下に示している英文は英語版の「ごみ分別ガイド」の一部ですが、左側の“Hazardous waste (special waste)”と右側の“specified waste items”の関係がわかりにくくなっています。日本語版を確認できれば、おそらく両方とも「特定品目」を指していることがわかるでしょう。



b. 近隣の日本人住民とのコミュニケーションが容易になる

翻訳で文章の意味が理解できるとしても、日本語の表現を確認できなければ、近隣住民とのコミュニケーションがうまくいかない場合があります。例えば、近所の方に、充電式の電池を「特定品目」のごみとして出して良いかどうかを確認したい場合には「とくてい ひんもく」という言葉を使う必要があります。このような場合に日本語版、特に振り仮名が施してある日本語版が近隣の日本人とのコミュニケーションの役に立つでしょう。

c. 日本語学習の手助けになる

日本で生活する外国人にとってゴミ出しのルールを覚えることは一つの課題ですが、やはり、生活に必要な日本語を身につけることも極めて重要な課題です。初心者には難しいかもしれませんが、ある程度日本語の勉強が進んでいる人なら、翻訳の元となった日本語版を参照できれば、日本語の勉強に役に立つはずです。仮名を振ったり、やさしい日本語で説明の工夫をすれば、さらに役に立つでしょう。

最近「日本語教育の推進に関する法律」が施行されました。この法律では「地域の状況に応じた施策を策定し、及び実施する」ことが地方公共団体に義務付けられています。法律では外国人のための日本語の授業が特に重要視されていると思いますが、生活情報を外国語だけでなく、「やさしい日本語」と一緒に提供することは法律の趣旨になっているだろうと思います。

d. 多様な言語的ニーズに応える

現時点で、熊本市が情報提供を行っている外国語は主に英語、中国語、韓国語となっています。それぞれの言語を母語とする人には大変良いことですが、それ以外の言語を母語とする外国人は少なくないはずです。全ての外国人の母語で情報提供をすることは不可能ですが、英語などの翻訳版と一緒に「やさしい日本語」版も提供していただければ、助かる外国人が多いでしょう。日本語の勉強に取り組んでいる人で英語を少し勉強した経験のある人なら、英語版と日本語版を見比べているうちに意味が見えてくる場合があるでしょう。日本語と外国語を一緒に提供すれば、片方の言語だけでは期待できないような相乗効果が生まれるような場合があると思います。

3. 改善案

a. 自動翻訳について

自動翻訳であるため質の保証はできないという旨の注意書きと一緒に元の日本語へのリンクを貼ることを提案します。これは意外と容易にできるはずです。熊本市の自動翻訳の URL は次のようになっています。

city.kumamoto.jp.e.fm.hp.transer.com/hpKiji/pub/detail.aspx?c_id=5&id=12636&class_set_id=2&class_id=2441

city.kumamoto.jp の後の .e.fm.hp.transfer.com の部分を削除すれば、元の日本語が表示されます。中国語や韓国語の自動翻訳も同様の仕組みになっています。比較的簡単なプログラミングで自動翻訳の URL を元の日本語の URL に変換して、リンクの中で利用できるはずです。

ちなみに、元の日本語を表示させることができれば、様々なウェブツールを使用できるようになります。まず、熊本市が提供している「音声読み上げ」は日本語のページで外国人にとっても役に立つはずですが、自動翻訳の中ではほぼ理解不能です。また、「ひらがなめがね」というページの中に熊本市の HP の URL を貼り付けるだけでも、以下の例のようにふりがなつきのページとなります。



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
このたび、多くの市民の皆様から温かいご支援を賜り、第33代熊本市長に就任し、引き続き市政を担わせていただくことになりました。改めまして職責の重さに身が引き締まる思いで新年を迎えた次第でございます。
早いもので、熊本地震から3回目の新年を迎えました。今なお仮設住宅等で不自由な生活を余儀なくされている皆様方に、改めまして心からお見舞い申し上げます。
昨年は、被災された方々の生活再建を最優先に、熊本城の復旧や市民病院の再建など熊本地震からの復旧・復興に全力で取り組むとともに、地域主義に基づくまちづくりや子育て支援策のさらなる充実といった復興の先を見据えた取組を進めてまいりました。

この他に様々なサービスがありますが、その利用には元の日本語を表示させることが必要になります。

b. pdf形式の外国語情報について

5月30日にHPに掲載された「ごみ分別ガイド」の外国語版は日本語からの翻訳だったと思われます。そうであれば、元となった日本語版も外国語版と合わせて公開していただければよいと思います。外国人学習者に配慮したやさしい日本語版を新たに作成される場合はもう少し時間と労力がかかるだろうと思いますが、そうした日本語版は外国人にとって利用価値が高く、作成にかかる労力に十分に見合うものとなるでしょう。

以上